

英の名作喜劇に挑戦

31日から神戸の劇団ぶらっと 「ディア・マイ・パパ」を上演



劇団ぶらっと「ディア・マイ・パパ」の須古風堂
神戸市灘区岩屋中町

神戸の劇団ぶらっとが、喜劇「ディア・マイ・パパ」を31日～6月3日、神戸市兵庫区新開地5の神戸アートリッジセンターで上演する。創立50周年を記念し、ノンストップ・コメディの傑作に挑戦。「ムラケラ笑ってもらえぬ作品に」と練習で汗をかく。

物語の舞台はロンドンの大病院。エリート街道を歩む医師デービッドが、名門あるスピーチに臨もうとしていたところ、元看護師が18年ぶりに病院を訪ねてきた。何やらデービッドとラ

ケありの様子で、話は何の医師や理事長らも巻き込んだ一大騒動に…。

英国の劇作家で、三谷幸喜さんにも影響を与えたレイ・クーニーさんの代表作。緻密な筋立てと会話の応酬で最後まで目が離せず、日本でも繰り返し上演されてきた。

劇団ぶらっとは2013

年11月、フリーの役者として活動していた中川順平さん(66)らが旗揚げ。「お客さんに、劇場に来たときより元気になって帰ってもらう」をモットーに年1回ペースで公演を続ける。今回は20、70代の12人が出演。主役を演じる中川さんは舞台にほぼ出ず「ばり」といい、「ジムに通って体

力を作っている」と笑う。演出の小森清太さん(66)は「緊張らずさつくばらんじ楽しんでほしい」と話している。

31日～6月2日午後1、6時、3日午後1時開演。3千円(学生2千円)。高嶋さん ☎090・4491・4491 (浦田幸弘)